



広報

No.260

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成5年8月末現在)

世帯数	8,411人
人口	27,195人
男	13,905人
女	13,290人

8月の人口移動			
出生	31件	死亡	7件
転入	83件	転出	74件
婚姻	16件	離婚	4件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷

とじて保存すると便利です

輝くシルバーのためのファッションショーを開催

9月4日午後、町中央公民館で「シルバーサミット」が開催され、地元のお年寄りがモデルとして出演するシルバーファッションショーでオープニングを飾りました。

ごごちないながらも懸命にポーズをとるおじいちゃん、おばあちゃんに、会場を埋めた町民たちから大きな拍手や驚きのため息。外出着や遊び着、ホームドレスなど3種類36点の作品が用意され、初めは照れていたモデルたちも「ぜひまた着てみたい」とすっかりお気に入りの様子でした。

作品をデザインしたパリ在住のファッションデザイナー上里幸子さんは「お年寄りももっと装いを明るくすれば、きっと心も明るく生き生きしてくるはず」と語ってくれました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

方に挑戦しよう

サミットを開催

「築こう心豊かな長寿社会」をスローガンに新しいシルバー像をもとめて、九月四日午後、県下初の「シルバーサミット」が、町中央公民館で開催された。各地区代表七名が参加したシンポジウムでは、それぞれのシルバーライフが披露され、高齢化社会を積極的に生きるための新しいシルバー像が模索された。平安町長ら三人の助言者交え、四時間近くも白熱した論議が展開された。サ

ミットの最後では「共同宣言」を採択し、積極的に社会参加をし活力ある長寿社会を築いていくという基本姿勢や一人暮らし、寝たきり老人のための施設・医療福祉の充実なども訴えた。

なお、サミット前には、北島角子さんの記念講演や上里幸子さんのシルバー・ファッションショーが催され、約六百人が参加したサミットを盛りあげた。

新しいシルバー像をもとめて

お年寄り自身の意識変革も必要

本町(平安恒政町長)では、二十一世紀には、四人に一人が六十五歳以上の高齢者という本格的な高齢社会

に対応すべく、県内各地の代表の出席の下に、町民一人ひとりが意見交換や交流を深める中で、二十一世紀



助言者
西原町長 平安恒政
助言者
宮城 初枝
助言者
西表 孫称

に向けた新しいシルバー像を模索する機会にするとともに今後の老人福祉施策の確立に供することを目的に今回「シルバーサミット」を開催しました。

サミットでは、ファッションデザイナー上里幸子さんデザインによるシルバーファッションショーのオープニングに始まり、呉屋安信町老人クラブ連合会会長の開会のあいさつ、平安恒政町長の主催者あいさつが行われ、その後、太田昌秀沖縄県知事儀間仁徳沖縄県老人クラブ連合会会長がそれぞれ来賓あいさつ。ひきつづいて「人生は二つある 知っていますか」をテーマに、女優・北島角子さんの記念講演が行われました。

記念講演



女優 北島角子氏

北島角子さんは講演の中で「人生は若いころの『学ぶ人生』と年を取ったからの『学んだこと』を伝える人生の二つある。自分しか自分の経験を伝えることはできないし、伝えることで子どもたちは伝統や文化を受け継ぐことができる」と自分自身の体験談を交えながら語り、約七百人の聴衆を魅了しました。

生きがいを見つけ挑戦しよう



(北部地区代表) 金城甚松さん

十年前に「一から始めたマンゴー栽培。苦しいことや挫折感も味わったことがあるが、一度もあきらめたことはない。人生は一度きり。何にでも挑戦していく気持ちを持って、生涯現役でいられる生きがいを見つけ挑戦しつづけて。」

知識や知恵を次の世代へ



(中部地区代表) 池原昌徳さん

私たちの世代は明治、大正、昭和、平成と四世代を生きてきた。その中で培った経験や知恵を積極的に伝えようと、読谷村楚辺区の地域史編纂に携わった。私自身も、外来語など辞書を引いたり、人に教えてもらいながら勉強している。

挑戦なしに成功なし

楽しく、積極的な社会参加のためには健康が大切と健康体操やゲートボールをしている。ゲートボールは公認二級審判員の資格を取得、現在

積極的な生き

県内初のシルバー

シルバーサミット共同宣言(要旨)

サミット参加者一同は、現状報告と提起された課題を踏まえ、二十一世紀に向けて

―戦世を生き抜いた私たちは、悲惨な戦争体験を踏まえて平和な社会を築くために努力していくこと

―これまでの人生経験を通して、若者に地域の伝統や文化を継承発展させていくこと

―積極的な社会参加により、心豊

かで生き生きとした活力ある長寿社会を築いていくこと

―自立できる高齢者を目指して、積極的に生産活動に参加すること

―ボランティア活動やこれまでの人生経験を通して、国際交流をはじめあらゆる社会活動に貢献していくこと

―健康管理に留意し、心身ともに充実した生活を送れるように努力し

一九九三年九月四日



(那覇地区代表)
比嘉允子さん

一級審判目指して勉強中。人間関係の輪を広げ、心豊かに老いるには、健康が第一であり、家に閉じ込めていては何もできない。



(南部地区代表)
當銘利光さん

豊見城では健康や生きがいづくりなどについて講師を招き、字単位の

ていくこと

―豊かな自然を守り、住みよい地球環境づくりに努力していくこと

―一人暮らしや寝たきり老人のための施設及び医療福祉の充実を求めていくこと

―心豊かで安心して暮らせる社会制度やしくみを社会全体でつくり上げていくこと

―を高らかに宣言します。

高齢者健康コンタールの開催を



クラブで巡回高齢者学級を開催している。日本が世界一の長寿国となつたいま、一人ひとりがその中身について考えなければならぬ時期にきているのでは。生きがいと健康づくりのきっかけとして、「高齢者健康コンクール」を県や市町村段階で開催してはどうか。

一生続けられる生きがいを持って



(宮古地区代表)
根間タケさん

城辺町教育委員会から「海亀調査員」として委託され、海亀の生態調査をしている。学問的には専門家ではないが、情熱はだれにも負けない。これからも、海亀の「種の保存」という神聖な行為を記録していきたい。

挑戦しつづける心構え大切



(八重山地区代表)
田本信精さん

六十七歳で自動車免許を取得、現在ワープロを練習中。変化しつづける世の中では、常に新しいことにチャレンジしていくことが大切。死を受け入れる心のゆとりを持ちながら、限界まで健やかに生きたい。

みんなで老人問題解決に協力



(西原町代表)
佐久川松枝さん

ボランティアを必要としている老人は多い。老人介護を若い人だけに任せるのではなく、比較的元気な私たちも積極的に協力して、地域ぐるみで取り組むことが重要だ。



へフロアから

フロアには小学生から壮年まで幅広い年齢層の人々がつめかけた。フロア討議では、小学生の「生きがいを持つことの大切さがよく分かった」という率直な感想や「行政も福祉のネットワークづくりを推進する必要がある」といった指摘があった。



木村美紀子さんが町代表に

平成5年度町「婦人の主張」大会

町婦人連合会(興那嶺絹子会長)主催、平成5年度『婦人の主張大会』が八月二十二日午後、町中央公民館で開かれ、主張をした四人に対し、会場から大きな拍手が送られた。

これは、婦人がそれぞれの職場地域に内在する諸問題を主体的に取り上げ主張しあうことにより、社会的な視野を広げ、婦人の地位向上と意識の高揚に寄与することが目的。大会では、平安町長をはじめ、宮平町議会副議長、稲福教育長ら来賓多数が出席。開会に先立ちあいさつをした興那嶺会長は「先日、女性行動計画地域推進委員会が結成され、地域・職場・家庭でも推進することになった。主張することによって婦人の地位向上と地域社会発展のために貢献できるものと信じる」と述べた。その後、会員一〇〇人が参加する中、発表者がそれぞれの立場から主張し、会場の感銘を誘った。結果は「未来を担う子供達へ平和の心を」をテーマに発表した西原台団地支部の木村美紀子さんが最優秀賞に選出された。

九月十一日の中頭郡大会に町代表として出場した木村さんは優秀賞を受賞した。

なお、発表した方々及びテーマは次の通り(敬称略)。

▽最優秀賞・木村美紀子(西原台団地支部)「未来を担う子供達へ平和の心を」▽優秀賞・新川マサ子(兼久支部)「老人ホームの新年寄りと私」、崎山弘子(兼久支部)「嫁と姑」、国吉恒子(小波津団地支部)「私の職業」

80歳以上五百名余を招き祝福

町社協第寿回記念敬老会賑う

―十百歳に松の花咲きゆる



御代に お真人もさかて遊ぶうれしやーと、町社協(宮平吉太郎会長)主催、第十回記念敬老会が、九月十五日午後二時、町中央公民館で盛大に開催された。

敬老会には、平安恒政町長、城間光雄町議会議長をはじめ来賓多数が出席し、招待された五百人余のお年寄り(八十歳以上)の皆さんの、これまでの地域社会への貢献と活躍に感謝するとともに、益々の健康と長寿を祈念した。

敬老会では、西原団地ひまわり祭り太鼓の幕開けの後、平安町長、城間町議会議長、呉屋安信町老連会長の来賓祝辞を受け、屋比久節子琉舞研究所による川平節、でいご座仲田幸子一行の民謡ショーなどが披露され、お年寄りも盛んな拍手を送って賑った。

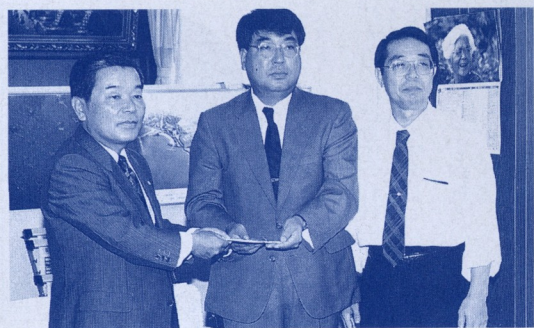
なお、本町での八十歳以上の方は、男性百六十九人、女性三百四十一人、合計五百十人。平安町長は、あいさつの中で、「これまでの豊かな経験を生かし、これからも本町発展のためお力添え下さい」と激励、祝福を述べた。

町人材育成会へ100万円

(株)ぐしけんが工場新築記念として贈る

どうぞ人材育成のために役立てて下さいーと、西原工場(字兼久一六二番地の一)の新築記念に(株)ぐしけん(具志堅健秀取締役社長)から町人材育成会へ100万円の寄附金の贈呈が九月十七日午前、町役場で行われた。

取締役社長具志堅健秀氏から平安恒政町人材育成会会長へ寄附金を手渡された。平安会会長は、「幅広い人材育成のため有効に活用したい」とお礼を述べた。



わたしたちは、時間を守り、すすんであいさつをしましょう。(町民憲章)

今年の米寿者二十九名 おめでとうございます

今年米寿を迎える方々は、明治三十九年生れて、男性六人、女性二十三人、計二十九人です。

写真紹介の外に、安谷屋カメさん(森川331番地)、玉城オサさん(掛保久26番地)が米寿を迎えられました。

平安町長が米寿で慶祝訪問

記念品と敬老祝金を贈る

町(平安恒政町長)では、九月十日から、米寿の方々に慶祝訪問し、これまでの地域社会に対するご尽力に感謝し、併せてますますの長寿を祈念し、記念品と敬老祝金を贈り

ました。

宮里カマドさん(字棚原四十三番地)は、平安町長の祝いの言葉に「歩くのが健康に一番。今でも、どこでも歩いて行くサー」と長寿の秘訣を披露してくれました。

また、八十歳以上の方四百

九十五人に対しても敬老祝金を支給し、カジマヤ(九十才)二人や新百歳一人に対しては記念品や祝状、さらに百歳以上三人に対しては記念品を贈りました。

なお、町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)や町老人クラブ連合会(呉屋安信会長)からもそれぞれ記念品が贈られました。

おめでとうございます。

					
仲宗根カネ 翁長230	城間 カマ 翁長554-1	棚原 文 森川123	宮里カマド 棚原43	伊波 カミ 棚原293	上地 安善 幸地586-38
					
石原カマド 呉屋155-2	吉山 ウタ 幸地141-17	玉城 美代 翁長411-4	糸数 徳吉 翁長67	糸数 カメ 翁長449	仲宗根英輝 翁長230
					
玉城 ツル 我謝241-81	泉川 律 与那城154-1	宮城 ヨシ 我謝198	濱川 ウメ 兼久100	中山 文弘 兼久1	呉屋 カメ 呉屋24
					
嘉手苺勝子 小波律233-90	伊波 ウト 池田125	平良 武戸 我謝662	新垣 ウト 我謝103	新垣 カマ 我謝118	新垣ヨシ子 我謝241-2
					
			永山 カズ 小那覇275	宮國 恒一 小那覇233-130	阿嘉トシ子 小那覇233-159



10月13日(水)10時から16時まで町役場2階会議室で人権相談。



西原児童館でおばけやしき催す

西原児童館では、8月20日から3日間、夏の暑さを吹きとばそうと館内に「おばけやしき」を作った。

夏休みということもあって、館内は子どもたちでいっぱい。ホサナ幼児学園や西原保育所、翁長学童クラブの子どもたちが「おばけ」を見に来た。

「あまり恐くなかったヨー」、「(一人は怖いから)3人で行こう」とぐずる子や泣き出して帰ってしまう子も。児童館の新川千都世さん(児童厚生員)は、「おばけやしきは、今年で3回目です。毎回好評で、来年も工夫を凝らしてぜひやりたい」と話した。



人材育成会、井出さんへ助成

8月20日午後、町人材育成会から井出清香さん(西原小6年)に対して、グランプリ東アジアホープズ卓球大会への参加助成金として53,700円が助成された。

同大会は8月24日に大阪市で行われ、グループ別のリーグ戦を行い、その成績により男女各8名の選手をアジア大会への日本代表選手として選出するもの。清香さんは県代表選手として沖縄県卓球協会(会長城間利雄)から推薦された。

清香さんは、伊佐クラブ(代表伊佐真市)で腕を磨いており、「全国大会でも優勝目指して頑張ります」と力強く抱負を語った。



全国交通安全キャラバン隊来町

県内を巡回し、交通安全対策を訴えていく全国交通安全キャラバン隊の受け入れ式が9月6日午後、町中央公民館で行われた。

町交通安全母の会や町交通安全推進協議会、浦添警察署員や浦添地区交通安全協会などから約100人が参加。県交通安全母の会の赤嶺千壽会長から平安恒政町長に「地域の実情に即した効果的な交通安全対策を」という石田幸四郎総務庁長官のメッセージが伝達された。

平安町長や新垣佳宏浦添警察署長、手登根勇浦添地区交通安全協会会長らが一行を激励。町交通安全母の会の與那嶺絹子会長が「母親の立場から家庭の交通安全教育を推進し、交通事故のない社会づくりに努めたい」と決意を述べた。また、シートベルト着用効果実験や交通安全啓蒙資料の配布なども行われた。



坂田小ミニバスケット男子が1位に

8月24日から3日間、鹿児島市で「平成5年度第13回九州ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会」が開かれ、県代表として参加した坂田小ミニバスケットボールクラブ男子が、見事1位の栄誉に輝きました。

同大会の交歓会では、同じく県代表の北中城小チームと合同で子どもエイサーを披露しました。

町人材育成会(平安恒政会長)では、坂田小ミニバスケットボールクラブ男子へこの大会への参加助成として、8月20日午後、町役場で54万円の助成金を交付し、支援していました。



ひまわり子ども会がナイトウォークラリー

集団で行動することによりチームワークやたくましい体力、精神力を養おうと県営西原団地ひまわり子ども会主催で、8月27日午後、ナイトウォークラリーが行われた。

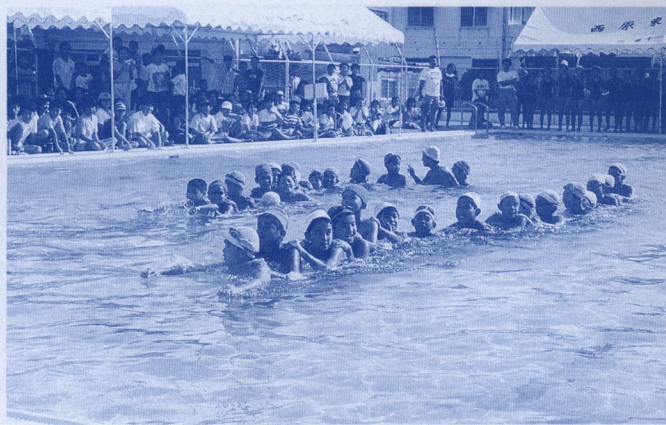
同団地集会所前を6時半にスタート、浦添消防署裏の公園までの往復約10キロメートル。小学5・6年生を主体として、男子はひまわり子ども会と小波津ファイターズから成る約30人、女子はひまわり祭り太鼓26人、引率の親25人の約70人が参加。暗い道を声をかけあって元気に歩き通した。



第33回全国下水道促進デー広報パレード

9月10日午後、第33回全国下水道促進デー広報パレード一行が町役場を訪れた。これは、下水道の重要性を訴え普及を図っていくことを目的とするもので今年で33回目。あいさつの中で平安恒政町長は「下水道の普及率は、本県で47%以上と全国平均を上回っているが町村ではまだまだ普及率が低い。河川や海の汚濁を防ぎ、文化的で快適な生活には下水道が不可欠だ」と述べた。

パレードは、「第33回下水道促進デー」と書かれたタスキをリレーしていく駅伝スタイルで、県内市町村を広報して回った。

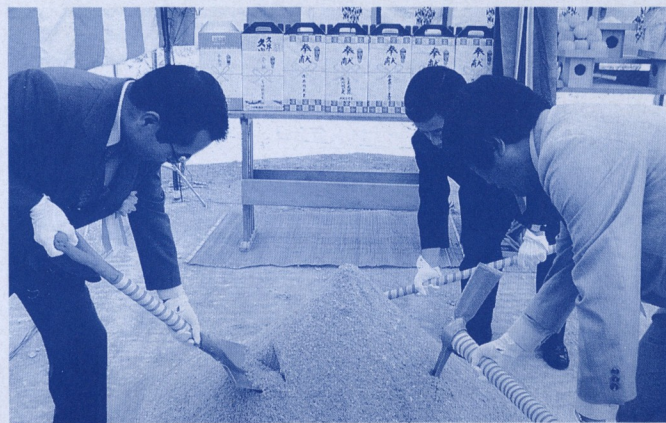


平成5年度少年少女水泳大会を開催

9月4日午後、西原小学校水泳プールで、町立4小学校の児童5・6年生約400人が参加して、平成5年度少年少女水泳大会が行われ、プールいっぱいに子どもたちの歓声が響きわたった。

これは、泳力の向上と町内4小学校の児童の親睦を図ることを目的とするもので、町教育委員会（稲福恭助教育長）が主催。自由型、平泳ぎ、百メートルリレー、ムカデ競争などの種目を競った。

応援する父母や子どもたちの声援が飛び交う中、熱戦が繰り広げられた。



町陸上競技場で安全祈願祭

8月24日午前、字翁長・呉屋地内で、平安恒政町長ら関係者約30人が出席して、町運動公園整備工事と町民陸上競技場身障者スタンド・屋外トイレ建築工事の安全祈願祭が行われ、町長らがくわ入れし工事の安全を祈願した。

町陸上競技場のメインスタンドは既に完成しており、今回は駐車場部分と身障用スタンド・屋外トイレの工事を行うもので、来年二月初旬ごろに完成の予定。最終的には約260台収容の駐車場を建設し、年次的に計画を推進していくことになっている。

みんなで実践、町民憲章！

平成五年度西原町民憲章推進協議会総会を開催

八月二十七日午後、町役場二階会議室で、平成五年度町民憲章推進協議会の総会が、構成団体代表者二十人が出席して開催された。

これは、昭和五十七年十一月一日に「西原町民としての自覚と誇りを持ち、『人間性豊かな文教のまち』を目ざし、恵まれた地理的条件を生かし、明るく住みよい平和なまちをつくるために」制定された町民憲章の推進と実践を行うことを目的として設立され、目的に賛同する町内の各種団体、

事業所及び個人で構成。

委員の委嘱状交付の後、役員が任命が行われた。平安恒政会長はあいさつの中で「日常のあらゆる機会を捕えて町民憲章の徹底を図っていきたい。町花・町木の複数制や生活改善運動など町民憲章の推進と実践を、本協議会が中心となって実行していこう」と述べた。

平成四年度事業及び決算監査報告、平成五年度事業案と予算案が審議され、原案どおり可決承認された。

推進運動の具体例として、

なお、協議会の役員は次の通り。

西原町民憲章推進協議会役員

(任期) H5.8.27～H7.8.26

職名	氏名	役職(構成団体)
会長	平安恒政	西原町長
副会長	城間光雄	議会議長
理事	與那嶺絹子	婦人連合会会長
〃	與那嶺浩	教育委員長
〃	呉屋安信	老人クラブ連合会会長
〃	瑞慶覧進	校務研究会会長
〃	玉那覇康夫	PTA連絡協議会会長
〃	翁長正吉	西原町農業協同組合専務
〃	宮平吉太郎	西原町社会福祉協議会会長
〃	野島英秀	体育協会会長
〃	呉屋定子	商工会会長
〃	長嶺由光	普及事業連絡協議会会長
〃	宮城真正	西原ライオンズクラブ会長
〃	照屋盛夫	島尻青年会議所理事長
〃	小川良夫	西原町助役
〃	稲福泰助	教育委員会教育長
〃	宮平正和	企画財政課長
〃	上間明	文化広報課長
〃	呉屋清	生涯学習課長
〃	宮平正輝	産業課長
〃	棚原盛光	保健衛生課長
監事	上亀直一	子供会育成連絡協議会会長
〃	呉屋實	区長会会長

ステッカー配布や憲章の英文併記などの意見が出された。

また、「香典返しや引出物の額など生活慣習を見直す必要があるのでは」、「憲章に『平和』の文字を入れてはどうか」など様々な意見、提言が出された。

夏の思い出を形に

―内間あおぞら子供会陶芸教室を開催―

夏休みの思い出を親子でつくろうと、内間あおぞら子供会陶芸教室が、八月二十三日午後、内間区公民館で開かれた。講師には、壺屋を拠点に活動されている濱子明久氏。

陶芸教室は、濱子先生の昔の焼物のおはなしから始まった。四十四人の参加者たちは、石器から土器への移り変わり、県内各地にある遺跡、薩摩侵入と壺屋焼の関わり、雑焼と



さて、何ができるかな

粗焼の違いなど沖縄の焼き物についてひととおり学んだ後、つくり方の説明を受けた。説明につづいて、「作品には名前を書く、最後は掃除も忘れずに」という諸注意がなされた後、さっそく濱子先生の指導の下、親子で作品づくりに取り組んだ。親子でそれぞれの作品をつくるので、子どもには負けられないと親の方が一所懸命。

「初めてつくったけど、うまくできた」という子もいれば、「鶴を作る予定が、難しいので、簡単にできる皿を作りました」という親子も。「ある程度の妥協も必要」という濱子先生のアドバイス(?)に作品の出来を納得しながら、ぎこちない手つきで作品づくりを行い残り少ない夏休みを楽しんだ。



わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。(町民憲章)

へちよつとお知らせ

町教育委員会(稲福恭助教
育長)では、社会科副読本とし
て「のびゆく西原町」(小学三
年生用と四年生用の二つ)を
新しく編集しなおし、子ども
たちの学習に役立てています。

これらは、子どもたちに西
原町を正しく知ってもらい、
まちを大事にする気持ちや住
みよいまちづくりの手がかり
としてもらおうとつくられま
した。

三年生用はB5版百六十六
頁、四年生用がB5版百七頁
でどちらもカラー写真やイラ
ストをふんだんに用い、見や



すく分かりやすいようになっ
ています。

また、昭和六十二年に発行
されて久しい「西原町の教育」
も、現代社会のニーズに応え
るものとして今回、改定さ
れました。町の概要から教育
行政、教育財政、学校教育の
諸計画などの外、教育相談事
業も含まれています。さらに、
資料編を加えたり、生涯学習
編と生徒指導編を分冊にする
など活用を図っています。

いま60、広げる雇用は65歳 〈10月は高齢者雇用促進月間です〉

当安定所では、例年10月を「高齢者雇用促進月間」
と定め、高齢者の雇用促進について啓蒙活動を行うほ
か、高齢者就職促進セミナー、60歳未満定年制事業所
に対して定年引き上げ事業所訪問指導、特別求人開拓の
実施を計画いたしております。

高齢者就職促進セミナー……10月29日(金)

○時間：13:30～15:30

○場所：当所会議室(2階)

お問い合わせ先：那覇公共職業安定所
那覇市旭町12番地
☎867-6472

みんなが主役の団地まつり

エプロン通信員 喜名京子

第十七回小波津団地まつり
(団地まつり実行委員会主催)

が八月二十日と二十一日の二
日間、自治会(山入端立美自
治会長)集会所広場で行われ
ました。

子どもエイサーが団地内を
パレードしながら、「スリサー
サ、スリサーサー」のかけ声も

可愛らしく、まつりの幕開
けを告げて回った。

老人会や美人揃いの婦人部
が今年できた「団地音頭」振
付山田多津子さんを矢倉の
上で踊ると、子どもも大人も

一緒に踊って輪をつくり、手
まね足まね思い思いに踊りま
した。

二日目は、若者によるロッ
クバンド演奏や祭りばやし太
鼓などで大いに盛りあがりま
した。団地が建設された時期
に生まれた子どもたちが、今
ではすっかりたくましい若者
になっていく姿を見ると、深
い感慨を覚えます。きつと彼
らが中心となって新しい団地

の文化や伝統を作り出し、こ
れからの歴史をつくっていく
ことでしょう。



10月29日(金)午後二時挙行 平成五年町戦没者追悼式
町(平安恒政町長)主催、平成五年西原町戦没者追悼式が、
十月二十九日(金)午後二時より町遺族会(翁長正昌会長)の
協力を得て、日露戦争より今次大戦にかけて戦没され、西
原の塔に合祀されております七千余柱の御霊のご冥福と恒
久平和を希求して、左記のとおり挙行政致します。
関係御遺族並びに一般町民の皆様にご参列下さいますよ
うお知らせします。

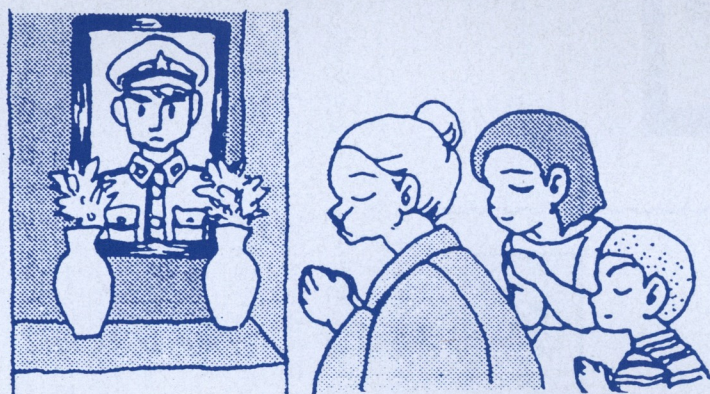
記

○日時 十月二十九日(金)午後二時
○場所 西原の塔(字翁長地内)

※詳しくは、町役場福祉課まで

(電話 九四五―五〇一一(内121))。

戦没者等の妻及び父母等の皆さまへ 特別給付金が継続支給されます。



特別給付金の最終償還を終えた戦没者等の妻及び父母等で、次の要件を満たす方に改めて特別給付金が支給されます。

- 第10回特別給付金「い号」国債を受けられた戦没者等の妻で、平成5年4月1日において公務扶助料、遺族年金を受ける権利を有している方に、額面180万円の特別給付金が支給されます。
- 第14回特別給付金「い号」国債を受けられた戦没者等の父母等で、平成5年4月1日において公務扶助料、遺族年金を受ける権利又は受ける資格を有し、かつ、平成5年3月31日までの間に氏を同じくする子も孫も有するに至らなかった方に、額面90万円の特別給付金が支給されます。

問 合 せ

西原町役場福祉課 ☎945-5311

お知らせ
でーびる

案内・募集

「国民健康保険税徴収嘱託員の募集について」

国民健康保険課では、
国保税の徴収員を若干名
募集しております。

詳しいことは、国民健
康保険課まで

電話 九四五・四七二九

(内線一五〇、一五一)

年金マスコットが決まりました！



年金のマスコット(仮称)は、
「年金ちゃん」です。
その名の通り、年金を
大切に守ることを
目指します。

初めまして
年金ちゃん！

人権相談所開設

- 1.と き 平成5年10月13日(水) 午前10時～午後4時
- 2.ところ 西原町役場2階会議室



人権擁護委員

親子・夫婦・扶養・相続・借地・借家・登記・名誉・信用・差別・私
的制裁・公害・いじめなどの人権問題の相談に応じています。

人権擁護委員はあなたの街の相談相手!!
相談は無料で秘密は守られます。

電話 (098)854-7950

FAX (098)835-4038

那覇地方法務局・那覇人権擁護委員協議会

10月17日～23日は、行政相談週間です。

悩むよりも相談を

西原町育児相談事業がスタート

町では、家庭内における子育てについていろいろな悩みごと、心配ごと、困りごとなどの相談相手となり、乳幼児が明るくすこやかに育つための育児相談室を10月より開設しました。

なお、詳しいことは次のとおり

一、相談内容

- (1) 基本的生活習慣
夜尿、夜泣き、ツメかみ、睡眠、食事、排泄、その他
- (2) 発育、発達
歩行、ほふく、性格、くせ、身体の発達、言葉の発達
- (3) その他（生活環境、育児方法）

二、相談日時 毎週 木曜日 午後2時～4時

電話相談 ☎945-3656

三、相談員

愛和保育園長	久手堅 愛子
西原白百合保育園長	大城 常子
さざなみ保育園長	宮城 邦子
小川保育園長	田仲 美智子
坂田保育所長	寄川 美智子
西原保育所長	添盛 初子

知っていますか？

(財)日弁連交通事故相談センター

面接相談(無料)

一年間に、なんと81万件の交通事故が、くらしをおそっています。不意におこった事故で「保険は？」「示談ですませられないか」「賠償額をどうしよう」とお困りの方、ご相談をお寄せ下さい。

※予約制です。前日までに電話で予約して下さい。

示談あっせん(無料)

損害賠償額などで当事者どうして話し合いがつかない場合、当センターの弁護士が間に入り、円満に解決するよう示談のお手伝いをします。

那覇相談所で行います。

訴訟費用の立替等

「裁判所で解決したいが、裁判費用等がまかえない」という方のために相談に応じます。那覇相談所でご相談ください。

相談の結果、勝訴の見込みがあれば、(財)法律扶助協会をご紹介します。

相談日 毎日(日曜、公休日を除く)

時間 午前10時～午後5時(但し、土曜日は正午まで)

■那覇相談所

毎週金曜日、午前10時～午後4時

沖縄弁護士会館内

那覇市楚辺1-5-15

☎098-833-5545

<ケア・ワーカー福祉共済制度がスタートしました>

病院付添いや個人家庭で介護をされるケア・ワーカー（家政婦さんの新しい呼び方です）の皆さんが安心して働ける、また介護を受けられる方（求人者）も安心してサービスが利用できるための補償制度です。

この度民営職業紹介所を通じて働くケア・ワーカーの皆さんと、介護を受けられる方にそれぞれ掛金を負担していただき、紹介所の協力を得て、国の支援のもとに福祉共済制度を財団法人介護労働安定センターで運営することになりました。

◎補償には次の4種類があります。

I. 求人者の方に掛金を負担していただく補償

(1) 傷害補償

通勤途上を含む就業中の傷害に対する補償

(2) 賃金不払事故補償

求人者が行方不明等となり、賃金不払事故が発生した場合に対する補償

II. ケア・ワーカーの方に掛金を負担していただく補償

(1) 賠償責任補償

就業中に生じた事故で、他人の生命・身体、又は財物を損壊したことにより、ケア・ワーカーが負担しなければならない損害補償についての補償

(2) 休業補償

病気、又は怪我により入院した場合における収入の補償

◎補償の開始日

- (1) 傷害補償及び賃金不払事故補償は平成5年9月1日より実施することとしています。
- (2) 賠償責任補償及び休業補償は平成5年6月より順次実施します。

ケア・ワーカーの皆さんが安心して働ける職場づくりのために、求人者の皆様方のご協力をお願いいたします。

ケア・ワーカー福祉共済制度のお問合せ先

財団法人 介護労働安定センター沖縄支部

TEL 098-869-5617

FAX 098-869-5618

郵便貯金は、住みよい社会づくりにお役に立つように使われます。

郵便貯金は、明治八年の創業以来身近な貯蓄として広く国民のみなさま方にご利用いただき、これまでに預けられた貯金の総額は全国で約一六八兆円、沖縄県内においても約六、五五八億円を超えています（平成五年三月末日現在）。

この、みなさまから預かりした大切なお金がどのように使われているかご存知でしょうか。

郵便貯金としてお預かりしたお金は、大蔵省の資金運用部に預けられ、財政投融资の主要な原資として各方面へ融資され、住宅・学校・病院・道路・上下水道施設の建設、中小企業・農林漁業の近代化などみなさまの、ごく身近なところで生かされています。

沖縄県内では、沖縄総合事務局を通じて県、市町村等に対して約三、六四一億円の融資がなされています（平成五年三月末日現在）。私達の西原町でも四四億円の融資を受けており、この資金によって町運動公園が整備されています。

郵便局では、このような郵便貯金の働きを広く市民のみなさま方にご理解いただくため、関係機関の協力を得て、毎年十月を「郵便貯金月間」と豊かな社会づくりをめざして」としてPR活動を行っています。

今後とも、郵便貯金に対するご理解とご支援をお願いします。

連絡先 西原郵便局

電話 九四五―五三〇九

わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。(町民憲章)

10月(Oct.) 行事・祭事予定

- 1日(金)○町社協食事サービス事業 10:00 町社会福祉センター (8日、15日、22日)
 2日(土)○閉庁
 ○西原保育所運動会
 ○幸地区一村遊び(八月十五夜)
 3日(日)○西原中学校体育祭
 ○西原東中学校 学習発表会
 ○棚原区一酉年豊年祭
 ○小波津区一八月十五夜 豊年祭
 4日(月)○三歳児健診 13:30~15:00 町社会福祉センター
 5日(火)○子宮・乳ガン検診 13:30~15:00 町中央公民館 (12日、19日、25日)
 6日(水)○心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター (13日、20日、27日)
 7日(木)○1歳半健診 13:30~14:15 町中央公民館
 8日(金)○町文化協会 第2回美術工芸・写真展 (9日、10日)
 9日(土)○閉庁
 10日(日)○体育の日
 ○町軽スポーツ大会
 11日(月)○振替休日
 13日(水)○人権相談 10:00~16:00 町役場2階会議室
 14日(木)○ポリオ 13:00~13:45 町中央公民館 (21日)
 16日(土)○閉庁
 ○坂田保育所運動会
 ○DT 13:30~14:30 町中央公民館
 19日(火)○行政相談 10:00~16:00 町役場2階会議室
 24日(日)○乳児一般健診 9:00~10:30、13:00~14:30 町中央公民館
 28日(木)○児童館まつり (~30日)
 29日(金)○戦没者追悼式 14:00 西原の塔
 30日(土)○閉庁
 ○人形劇公演 西原児童館

11月(Nov.) 行事・祭事予定

- 3日(水)○文化の日
 ○文化講演会
 4日(木)○心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター (10日、17日、24日)
 5日(金)○母親学級 13:30 町社会福祉センター (12日、19日、26日)
 ○食事サービス事業 10:00 町社会福祉センター (12日、19日、26日)
 6日(土)○閉庁
 7日(日)○西原南小 学芸会
 8日(月)○三歳児健診 13:30~14:15 町社会福祉センター
 9日(火)○挑戦大会 (西原児童館)
 11日(木)○1歳半健診 13:30~14:15 町中央公民館
 13日(土)○閉庁
 ○西原まつり・健康まつり (14日)
 14日(日)○インフルエンザ 9:00~10:30 町中央公民館 (21日・28日)

※都合により日程変更することもあります。

沖縄県女性問題リポーター募集

県では、女性に関する法制度の地域への浸透と、役割分担意識の変革のための広報・啓発活動を行うとともに、地域における女性問題の情報収集・提供を行うことを目的として、女性問題リポーター (以下「リポーター」という。) を募集しています。

- 1 募集人員 男性3名
- 2 任期 リポーターの任期は、発令の日から2年とする。
- 3 委嘱 沖縄県知事が委嘱する。
- 4 活動 リポーターは、県の女性行政の地域への広報・啓発を行うとともに、地域の女性問題に関する情報の提供を行うため、次の内容の活動を行う。
 - (1) 女性に関する行政施策の推進に協力する。
 - (2) 日常的に地域活動への参加が困難な女性や男性へ、女性問題に関する情報提供を行う。
 - (3) 地域における各種会合の機会を捉えて、女性問題に関する普及啓発を行う。
 - (4) 地域における女性に関する話題、問題等の情報の収集を行うとともに、県への提供を行う。
 - (5) 県の女性行政に関するアンケート等への協力を行う。
 - (6) その他

5 募集締切 平成5年10月8日(金)

6 応募先 西原町役場 文化広報課

電話 946-9846 (内 172)

翁長区の事務担任者

(区長) 決まる

任期満了に伴い、平成五年

四月一日、各行政区の事務担

任者(区長)が決まり、すでに

町民と行政のパイプ役として

活躍いただいています。

この程、翁長区の事務担任

者(区長)が決まりました。ど

うぞよろしく。

翁長区 城間敏明 字翁長

四二九 九四五一一七五二

土地基本調査 世帯調査にご協力を

11月1日現在で、全国いっせいに土地基本調査世帯調査が行われます。この調査は、全国の約60万世帯を対象に、土地の所有状況やその利用状況などを調査するもので、その結果は、我が国の宅地開発計画や土地利用計画などの土地政策を的確に実施するための基礎資料として利用されます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先—企画財政課 統計係

電話 945-4533(内211)

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽北中城村字屋宜原六百七十五番地、株式会社ぐしけんパ
ンさんが、西原工場新築記念
として町人材育成会へ百万円
▽字我謝百五十六番地、安里
光雄さんが、故母ツルさんの
香典返しとして町社協へ十万
円。

おわびと訂正

先月号の一頁、「呉屋区(阪
本登代子区長)は「呉屋区(呉
屋英輝区長)の誤りでしたの
で、訂正しておわびいたします。

第9回西原まつりは平成5年11月13日(土)・14日(日)、西原東中学校グラウンドで開催。